第76回塑性加工連合講演会

「テーマセッション」のご案内

第76 回避性加工連合講演会 (2025 年 9 月 24 日 (水) ~25 日 (木), 茨城大学) において, 下記の 6 件のテーマセッションを開催いたします. 奮ってご応募下さい. ご不明の点につきましては, 各セッションのオーガナイザーまでお問合せください. テーマセッションの特徴は以下の通りです.

- (1) 一般講演とは区別してプログラムを組みます.
- (2) 特定のテーマに関する講演を広く公募します.
- (3) 公募論文の取捨選択や討論時間などの運営方法はオーガナイザーに一任します. (採択されなかった場合には一般講演に回っていただきますのでご了承ください。)

記

申込方法 学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください.

申込締切日 2025年5月8日 (木)

テーマセッション1「ポーラス材料研究における機能・構造・ものづくりの三重点」

オーガナイザー: 吉村 英徳 (香川大) , 半谷 禎彦 (群馬大) , 久米 裕二 (山形大)

協力:ポーラス材料分科会〔主査:吉村 英徳〕

問合せ先:久米 裕二 (山形大), e-mail: kume@yz. yamagata-u. ac. jp

ポーラス材料研究では、力学特性や熱特性などの「機能」、オープンセルやクローズドセル、ロータス型やラティスなどの「構造」、そして、粉末法や溶湯法などの作製法や、発泡後の成型などの「ものづくり」が広く取り組まれている。そして、これらの要素が複合的に重なる三重点に立脚した俯瞰的なアプローチが求められている。本セッションでは、この三重点における取り組みを核に、その周辺技術についても幅広く議論するため講演を募集する。

テーマセッション2「素形材産業の発展と競争力向上を目指す鍛造技術」

オーガナイザー:松本 良(阪大),吉田 佳典(岐阜大),北村 憲彦(名工大)

協力:鍛造分科会〔主査:松本 良〕

問合せ先:松本 良 (阪大), e-mail:ryo@mat.eng.osaka-u.ac.jp

原価低減や生産性向上等が競争力を強化し、素形材産業の未来を切り拓きます. これらの基盤技術となる CAE, センシング, 材料や現象のモデリング, 工法開発, 潤滑等について鍛造およびその周辺技術の観点から広く議論します.

テーマセッション3「棒線管材の伸線加工技術・材質制御・製造技術に関する至近の取組・動向」

オーガナイザー:梶川 翔平 (電気通信大),窪田 紘明 (東海大),梶野 智史 (産業技術総合研究所),中島 孝 ー (IFE スチール)

協力:伸線技術分科会〔主査:柚賀 正雄〕

問合せ先:中島 孝一 (JFE スチール), e-mail:koi-nakashima@jfe-steel.co.jp

棒線管材は、鉄鋼・非鉄など種々の材料を素材にし多岐の用途に渡る重要な部材である。本セッションでは、棒線管材について、材料、加工プロセス、評価・解析技術、潤滑、伸線機械などの技術全般に関する至近の取組・技術動向について情報交換・議論を行い本分野の活性化を図る.

テーマセッション4「CFRPの多様な成形法および多様な産業への展開」

オーガナイザー: 立野 大地(金沢大),星野 倫彦(日本大),梶野 智史(産業技術総合研究所)

協力: CFRP 成形加工分科会〔主查: 米山 猛〕

問合せ先: 立野 大地 (金沢大), e-mail: dtatsuno@se. kanazawa-u. ac. jp

近年 CFRP は、各種の熱可塑性樹脂の熱可塑性 CFRP への適用が進むとともに、連続繊維のみならず、一方向繊維のカットチップのランダム配向など、様々な基材の開発が進んでいる。また加工法としてもプレス成形のみならず、鍛造成形や異種材との接合、テープ成形、3D プリンティングなど多様な加工法が開発されている。そして、自動車分野のみならず、ドローンやロボット、福祉機器等へ適用が広がっている。本セッションでは、CFRP の各種成形法や各種産業への適用の最新状況について研究交流を行い、研究および産業の推進を図る。

テーマセッション5「塑性加工特有の物理現象を理解するための塑性論の深化」

オーガナイザー:大家 哲朗 (慶応大),上島 伸文 (東北大),末吉 敏恭 (琉球大),及川 勝成 (東北大),柳本 潤 (東大)

問合せ先:大家 哲朗 (慶応大), e-mail:oya@sd.keio.ac.jp

材料の多様化や加工技術の高度化に伴い、物理現象としての塑性加工の複雑さが増している。より高度な強度予測や成形性評価を行うためには、材料のマクロモデルを高精度化するだけでは不十分であり、転位論のような組織レベルの学問領域と有機的に接続する必要がある。本テーマセッションは、塑性力学と材料科学の境界領域の開拓を主な研究対象とし、そこから現象論的材料モデルの高度化および塑性加工 CAE の発展に資するような議論へとつなげる場とするという企画意図のもとで開催させていただく。

テーマセッション6「INTERNATIONAL SESSION 2025」

Organizer: Akira Yanagida (Tokyo Denki University) , Hiroshi Utsunomiya (Osaka University), Hyung-Won Park (Komatsu University)

Contact: Akira Yanagida (Tokyo Denki University) E-mail: yanagida@mail.dendai.ac.jp

International Session is organized at the Japanese 76th Joint Conference on Technology of Plasticity. The official language in this session is English. Any presentations relating to the technology of plasticity are welcome. This session may be divided into sub-sessions, e.g., bulk forming, sheet forming, numerical analysis, etc. Talks given by overseas researchers/students in Japan as well as researchers/students visiting from all over the world are welcome. Japanese domestic researchers/students could give English presentations in this session. Discussion among up-and-coming young researchers beyond nationality, institution and process is welcome. A two-page abstract in English is required as normal session presentations.

「インターナショナルセッション 2025」

オーガナイザー:柳田 明(東京電機大),宇都宮 裕(阪大),朴 亨原(公立小松大)

問合せ先:柳田 明(東京電機大), E-mail: yanagida@mail.dendai.ac.jp

第76回塑性加工連合講演会にインターナショナルセッションを設置します。このセッションに限り公用語は、英語ですが、塑性加工に関するものである限り、いかなる発表も受け付けます。海外から来日中の研究者・留学生および海外からの研究者や学生が発表する場として好適です。また日本人研究者や学生も英語で発表を行うことができます。特に、若手研究者間の、国や機関あるいはプロセスの垣根を越えたボーダレスで活発な議論を期待します。他のテーマセッション・一般講演と同様の2ページの概要(ただし英文)が必要となります。

「優秀論文講演奨励賞」について

講演会運営委員会では、塑性加工講演会の活性化と優秀な若手会員の活躍を期待して、新進の研究者・技術者の優秀な論文講演を表彰しております。本賞審査の対象となる方は、**講演発表時に満 35 才以下の会員**です。35 歳以下の講演者で審査を希望される方は、申込時に希望の有無および年齢を選択してください。受賞件数は、分野を偏らないように配慮して、10 件程度とします。ただし、過去に本賞の受賞歴のある方は受賞後 2 年間が欠格期間となります。審査は、座長を含む審査委員による論文内容、発表方法、質疑応答に基づいて、総合的に評価します。優秀論文講演奨励賞の受賞者名及び講演論文名等は、会報誌「ぷらすとす」 にて公表するとともに、賞状と副賞を贈り顕彰します。